

昭和51年5月13日

〔新製品（四輪）のご案内〕

新発売

CIVIC CVCC 1200 4ドア

本田技研工業(株)では、このたびCIVIC1200シリーズに4ドア車を加え、《CIVIC CVCC 1200 4ドア》として新発売いたします。

この1200・4ドア車の4タイプが加わることによって、ベイスック・カーとしての機能と経済性を備えたCIVIC1200シリーズに、よりファミリーな要素が加味されて充実。1500シリーズと同様お好みにあったクルマをお選びいただけるようになりました。



〔特徴の概要〕

- CIVIC1200で実績ある1,238cc 63馬力のCVCCエンジンを搭載。もちろん51年規制適合です。
- 1200ccクラスで1番ゆとりのある広くフラットなフロアの室内（室内長・1,720mm=1500・4ドア車と同寸法）です。
- 運転がしやすく、混合交通にも適したCIVICのキビキビした走行性と安全性を備え、維持費も安いベイスックな4ドア・ファミリー・セダンです。

発売日 昭和51年5月14日
 価格

主要地区標準現金価格 (単位：千円)

	スタンダード	デラックス	ハイ・デラックス	G F
東京	692	729	763	787
名古屋	692	729	763	787
大阪	694	731	765	789

オートマチック車は 36千円高

生産計画 月産 4,000台

(国内のみ)

CIVIC 1200 4ドア GF 主要諸元

- ① FF機構と余裕のある動力性能。
- ② ワイド・トレッド、ロング・ホイール・ベースで、オーバー・ハングの少ないコンパクトなボディ。
- ③ CIVIC1500なみのサーボ付フロント・ディスク・ブレーキ。
- ④ ストラット方式4輪独立懸架。
- ⑤ ラック・アンド・ピニオン・ステアリングで切れ味のよいハンドル
- ⑥ 床下配置の40ℓ燃料タンク。
- ⑦ 良い燃費・22 Km/ℓ (60 Km/h 定地走行テスト値)
11 Km/ℓ (10モード走行、運輸省審査値)

いずれも4速ギアミッション仕様

全長(m)	3.640 [3.500]
全幅(m)	1.505
全高(m)	1.325
軸距(m)	2.280
輪距(m) 前/後	1.300 / 1.280
最低地上高(m)	0.170
車両重量(Kg)	725 (735) [715]
乗車定員(人)	5
客室内寸法(m) 長さ	1.720
幅	1.255
高さ	1.115
エンジン	CVCC水冷直列4気筒横置OHC
総排気量(cc)	1,238
内径×行程(mm)	72.0×76.0
圧縮比	7.9
最高出力(PS/rpm)	63 / 5,500
最大トルク(Kg-m/rpm)	9.5 / 3,500
登坂能力(tanθ)	0.46
燃料消費率(Km/ℓ) 60Km/h 定地走行テスト値	22 (19.5)
燃料タンク容量(ℓ)	40
クラッチ形式	乾式単板ダイヤフラム
変速機操作方式	(トルクコンバータ3要素1段2相式) フロア・チェンジ式
変速比	1速 3.000 (L: 1.761)
2速 1.789 (☆: 1.034)	
3速 1.181	
4速 0.846	
後退 2.916 (2.045)	
最終減速比	4.733 (4.117)
かじ取歯車形式	ラック・ピニオン式
最小回転半径(m)	4.9
懸架および車軸形式(前後とも)	マクファソン・ストラット式独立懸架
ブレーキ形式 前	油圧真空倍力装置付ディスク
後	油圧真空倍力装置付リーディング・トレーリング
タイヤサイズ(前後とも)	600-12-4PR

(): GF・AT [] : デラックス

53年度規制適合車排出ガスレベル及び燃料消費率一覧表

自動車製作者 本田技研工業株式会社

車名型式 (通称名)	原動機 型式	等価慣性重量 総排気量	主要排出ガス 対策内容	自動車排出ガスレベル						10モード 燃料消費率 (審査値)	備考 (メーカーの届出に よる燃料消費率)		
					10モード (g/km)			11モード (g/TEST)					
					NOx	HC	CO	NOx	HC			CO	
ホンダE-SK (ホンダシビック) 3kg	EJ	750 kg	副室付成層 給気燃焼方式	規制平均値	0.25	0.25	2.10	4.40	7.00	6.00	13.0 km/l	10モード走行 (10.0~13.5 km/l)	
		1,335 cc		完成検査 目標平均値	0.23	0.19	2.02	3.83	6.26	5.12			
		875 kg	副室付成層 給気燃焼方式	規制平均値	0.25	0.25	2.10	4.40	7.00	6.00			60 km/h 走行 (19.0~24.0 km/l)
		1,335 cc		完成検査 目標平均値	0.23	0.19	2.03	4.12	6.33	5.33			
				審査値	0.16	0.12	1.75	2.20	2.84	2.25			
				審査値	0.16	0.12	1.75	2.20	2.84	2.25			
ホンダE-SP (ホンダシビック) 4kg	EJ	875 kg	副室付成層 給気燃焼方式	規制平均値	0.25	0.25	2.10	4.40	7.00	6.00	12.5 km/l	10モード走行 (10.0~12.0 km/l)	
		1,335 cc		完成検査 目標平均値	0.23	0.19	2.03	4.12	6.33	5.33			
			審査値	0.21	0.13	1.70	3.39	3.16	2.25				
			審査値	0.21	0.13	1.70	3.39	3.16	2.25				
			審査値	0.21	0.13	1.70	3.39	3.16	2.25				

自動車排出ガス対策の概要及び概略図

車名 型式	ホンダ E-SK	ホンダ E-SP
自動車 の 排出 ガス 対策 の 概要	<p>1. エンジン改良</p> <p>(1) CVCC エンジンの採用</p> <p>シリンダヘッドの燃焼室は主燃焼室と副燃焼室からなり、希薄化された混合気を効率良く燃焼させるため副燃焼室に隔壁を設けている。</p> <p>また、気化器は主燃焼室用と副燃焼室用の2系統のベンチュリを持ち、主燃焼室用には3重ベンチュリを採用し燃料の微粒化を図ると共に、主燃焼室には薄い混合気を副燃焼室には濃い混合気を与え、トータルでは希薄な空燃比で成層燃焼をさせることによって排出ガスレベルの低減を行っている。</p> <p>(2) 混合気の温水加熱</p> <p>吸気マニホールドは温水により混合気を加熱する方式を採用し、燃料の霧化を促進させて常に良質の混合気を供給している。</p> <p>(3) その他</p> <p>(1)(2)の改良に対して、点火系の最適化を図っている。</p> <p>2. その他</p> <p>燃料蒸発ガス抑止装置等を採用している。</p>	

自動車排出ガス対策の概略図

